

ここが聞きたい!
いっぱん

質問

たたら製鉄を 世界遺産登録への考えは

若月忠男 議員

町長 世界遺産登録に向かって、
少しずつ前進させています



問 神々の国島根・古事記一、三〇〇年に連動した、神話ブームを追い風の機会ととらえ、奥出雲町の着地型観光振興事業と、集客イベントの考えは。

答 平成二十二年度から島根県の、大型観光キャンペーン・神話のふるさと、島根県推進事業を推進するため、協議会が組織されており、平成二十五年度まで、充実した事業展開を図ることとされており、奥出雲町は、まさに神話のふるさとであり、奥出雲にふさわしい観光事業を、展開してまいりたいと考えています。

す。神話ガイド養成講座を、八回開催してしっかりと養成してまいりたいです。このように町民の皆さまの積極的な関わりや、取り組みを得ながら、奥出雲の地が将来神話ブームも、追い風としてうまく生かしながら、パワースポットだけでなく、ヒーリングスポットと言うことも最近言われており、魅力ある観光地として、売り出しをしていきたい。新年度は、船通山の宣揚祭観光ツアーや、斐伊川サミットと、伝統芸能交流大会と、奥出雲太鼓祭りの復活も計画されており、着地型観光ツアーや集客イベント、そして全国への情報発信も積極的に行っていく考えです。また、稲田神社の遷宮も予定されており、稲田姫をつまぐ米づくりに、結びつけるようなPRも今後考えて行きたいと思っております。

問 たたら製鉄の価値と保全継承を、世界遺産登録についての考えは。

答 たたらの価値についての講演や、パネルディスカッションでは、その価値をさらに探求していく中で、社会的な価値を参加者一同が、認識することが出来たと考えています。

奥出雲町では、木原村下の指導で、毎年小学生のたたら体験を、児童四名が発表し、ふるさと教育の原点を見る思いでした。この感動を大切に、引き続き世界に誇れる、伝統技術を後世に引き継ぐ取り組みを計画的、継続的に行ってまいります。県教育長答弁は、世界遺産登録に向かっては、いろいろクリアすべき課題もあると、答弁がなされ、文化財の指定の問題等一つ一つ着実に、大きな目標である世界遺産登録に向かって、前進させていく考えでございます。

問 新作刀剣展の開催についての考えは。

答 毎年、刀匠の研修会もこの奥出雲町の地で、行われておりますので、開催の時期でありますとか、開催場所等、関係の皆さまと協議して、町と致しまして、前向きに検討してまいります。

問 医療従事者の支援強化についての考えは。

答 奥出雲病院は、月額五万円を無利子で、入学した月から卒業の月までの在学期間に限って、貸与しています。この期間の二倍以上、奥出雲病院で勤務すれば、全額免除という制度を持っています。今年度は、町としてもいろいろ制度を構築しておりますが、授業料に対する援助等も含めて、更に充実していく方策を考えてまいります。

問 第十回全国和牛能力共進会の取り組みの考えは。

答 全共で好成绩を上げることは、地域における和牛生産や、和牛改良に大きな影響をもたらすものと思っております。

全共出場に向けて、新年度早々には決起大会も開催したいと考えておりまして、所要の予算もこのたび計上しているところであり、町としても可能な限りの支援をしてまいりたいと考えております。